



Kainan East Rotary

DISTRICT 266

CLUB WEEKLY BULLETIN

事務所 海南市日方1294 海南商工会議所内 TEL (07348) 2-4363
 例会日 毎週月曜日 12時30分 ♣️ 1例会のみ 18時30分 於海南商工会議所 4 F
 会長 岡田雅晶 幹事 松田易己 会報委員長 藤原長良

才183回 例会 昭和54年4月9日(月) 於 海南商工会議所

1. 開会司会 岡田雅晶
2. ロータリーソング 「手に手つないで」
3. 出席率 86.49% 会員総数 37名 出席者数 32名
前回修正出席率 97.30%
4. ビジター 川口 梶様 (和歌山R.C.) 尾崎剛様 (御坊南R.C.)
土井脩平様 (") 丸谷順正様 (有田南R.C.)
前田孝造様 (和歌山東南R.C.) 中村哲三様 (海南R.C.)
5. 会長スピーチ

ビジターの方々ようこそお越下さいました。先週6日の地区大会には多数御参加下さいまして有難とう御座居ました。前日5日の会長幹事の懇談会がありました。その内容2~3御紹介致します。地区委員会の運営問題点と云う事で話し合いがあり、大阪西北R.C.から「クラブ活動が委員長に片寄って他の人々は無関心である」と云う発言が御座居ました。大阪R.C.から「I.G.F.の組合せについて、もう少し変化を持たせたら」との意見も出ていました、それは地域的、時間的にむづかしいので、2~3の組合せの変更だけで、現在のまゝ続けて行くとの事でした。

次年度は来年4月4日・5日です。池田市で開催される事が決って居ます。伊藤ガバナーの方から3H基金について、266地区84クラブがありますが、既に48クラブが送金されている様で此の件については、理事会ではかって善処したい。此の後会員卓話になっていますので、最後迄宜敷く御願ひ致します。

6. 幹事報告

- 例会日前・場所変更のお知らせ
有田R.C. 4/12(木) 時間平常吉野神宮
堺南R.C. 5/7(月) P.M. 4:30 「さえき」
和歌山西R.C. 5/9(水) P.M. 6:00 和歌山郵政クラブ
- 認証状伝達式のお知らせ
鎌倉北R.C. 5/27(日) 京浜女子大学
- 理事会開催のお知らせ
4/12(木) P.M. 7:00 木村屋 会員増強について御協議を
- 会員増強について
今週で締切らせて頂く推せん者は幹事迄



REACH OUT.....手をさし伸べよう..... *cam*

7. 委員会報告

国際奉仕委員会 西岡委員長

来る4月16日(月)はプログラムでは、会員卓話になっているようですが、9月のアジア地域大会参加の皆様、ニューオリエンタル旅行社の方から説明に参ります。よろしくお願い致します。

8. 卓話 会員 小嵐俊和君

私は、之と云う趣味がありません、話題に不足致しますが、本日は商売の中の主力商品でありますタイルについて、聞いて頂こうと思います。

先づ歴史について、いったい何時頃からタイルが出来たか、ヨーロッパの考古学者が発掘された資料によりますと、氷河時代から既に造られていたと考えられます。その後建築材としての焼物は紀元前5千年頃、練瓦として用いられ、今日のようなタイルに近いものは、紀元前3千5百年、エジプトで造られ製造技術はメソポタミヤ、ペルシャを通り中国に渡っています。装飾材としてタイルの形態はアラブのイスラム寺院に多く使われて居り、その後スペインに渡り10世紀から15世紀に亘り建築の壁、階段、天井に広く用いられ、之が商人の手でイタリアに渡って来ています。当時はダンテ・ザヴィンチの生れた文芸復興の時代で、イタリアに焼物のメッカとして技術と多様化がなされた。日本では桃山時代に利休によって、茶道の環境造りとして、敷瓦や塀等に外装材として利用、今日のようなタイルは、明治に入ってから30年淡路で工場生産がなされる様になりました。洋風建築の増加で新しく生産工場が造られ、業会が発展しました。製法及色彩等発達経過は……(省略)

卓話 会員 倉橋利幸君

準備不足で内容に欠けますが、内科医として一番ポピュラーな問題を聞いて頂きます。「胃ガン」に就いて、最も関心のある事は40才になりますと、ガン年齢に入る訳ですが、市病奉職6年半で一番年少な方は21才でありました。さてガンは何であるか、之はハッキリ答えられる方は先づない。医学的には表皮細胞から発生して、それ自体母体と全然関係なく自主性をもった悪性の新生物と云っています、此の他表皮でない細胞から出た肉種の様な危険なものがあります。扱ガンですが、今日のように研究が積まれ進歩しているにかかわらず何がむづかしいか、ガンは何から出来るか分らない。刺激説ウイルス説があります。従って治療がむづかしい事になります。体である生体を弱めずにガン細胞のみを制圧する薬がむづかしい訳です。診断の方法として、カメラ、レントゲンで部位を確認、カメラで色・内容をとらえ詳細を確認するのです。治療法として最大のものは手術、次は薬物療法(丸山ワクチン、猿の腰掛、クレハのプレスチン)があります。出来るだけ早く見つけて早く処置をする事です。



二二BOX

- 追田 博司君、平尾寧章君 (1/20 ICGFで発言、記録に携載される)
- 前窪 紀文君 (地方選挙で良い結果、4/6勝手休み……)
- 長尾 満明君 (私の兄、県会有田地区より無事四選当選)
- 柳川和一郎君 (4/6懇親会早退、次年度米山、よろしく)
- 宮田敬之佑君、角谷勝司君 (先日地区大会でフェローの表彰受く)
- 上田 文亮君 (例会に遅刻しました)